土浦平和の会

ニュースNO・４２　？ｑｑワ年３亂２

発　行　土浦平和の会
事務局　土浦市神立町２６６４－２
TEL　３１―９１２２

u命回昌図はいま新しいステージへ

２月２８日、静岡サールナートホールにおいて日生協の主催する「虹のひろば」に参加し、日本の核実験反対運動の原点を振り返ることができました。

「原爆まぐろ」や放射能雨から始まった、杉並の主婦を中心とした核実験反対の署名運動が各地の運動を結集して第１回原水爆禁止世界大会に発展していく経過を、最初から運動にかかわってきた小沢清子さん（原水爆禁止署名運動杉並協議会）から聞き、故久保山愛吉さんの姪の鈴木みねさんから久保山さんの人柄や被曝してから亡くなるまでの様子、久保山さんの「原水爆の被害者は私を最後にして欲しい。」という願いを聞いて核保有国と日本政府も含めてその同調国の非人間的な核依存政策に改めて憤りを覚えないではいられませんでした。弁護士の池田眞規さん（日本反核法律家協会事務局長）はパークの世界法廷の勧告的意見に至る運動の経過、「核兵器廃絶条約」「非核地帯条約」締結への運動の展望についてうったえました。国連総会が核兵器廃絶交渉開始要請決議を圧倒的多数で採択したいま、世界の世論は「実験禁止から廃絶へ」と確実に変化していることを実感しました。今年のビキニデーはその意味から新しいステージへの第一歩として日本原水禁実行委員会、ビキニデー静岡実行委員会共催で開かれ、日生協や日宗平協も関連企画を催したものです。

毎年３月１日が近づくとビキニデーを思い出して、一度行ってみるかなーと考えるのですが、勤めている間は行けないでいました。今年茨城コープポッポの会の一員として初めて焼津の久保山愛吉さん墓前祭に参加することができました。夢の島の展示館で第５福竜丸を見たことがあるが、本家の焼津に行ったことがなかったのです。第５福竜丸の乗組員２３名のうち１０名が亡くなっていること、福竜丸のエンジンが今年三重県沖で引き上げられたことなども知ることができました。

―●井上仁志―

a囲りａ@白皀白

と　き　４月２０日（日）
　　１３時から

と　ころ　１中地区公民館

会員全員び出席可能です
ご都呂のつ（ちは是非参加
（ださい

行事ごよみ

３月１６日　県平和委理事会（石岡）
３月１８日　上浦平和の会理事会（１中地区公民）
４月２０日　上浦平和の会総会（１中地区公民館）
５月１１・１２　東・北富士視察の旅（予定）
５月１８日　県平和委大会

危険いっぱい
日本近海の劣化ウラン装備艦

横須賀母港の１１艦船は全部劣化ウラン装備
（２０mmファランクス砲Mk１６配備）

ﾌｸﾞﾄﾘｯｼﾞ（揚陸指揮艦）	2基
ｲﾝﾃﾞﾍ　/ﾃﾝｽ（空母）	3基
ﾊﾞﾝｶｰﾋﾙ（ｴｲｼﾞｽﾐｻｲﾙ巡洋艦	2基
）	2基
ﾓｰﾋﾞﾙﾍﾞｲ（同上）	2基
ｶ时ｽｳｲﾙﾊﾞｰ（同上）	2基
ﾌｧｲﾌﾞ（駆逐艦）	２基
ﾋｭｰｲｯﾄ（駆逐艦）	２基
ｵﾌﾞﾗｲｴﾝ（駆逐艦）	１基
カリ（ﾐｻｲﾙﾌﾘｹﾞｰﾄ艦）	１基
ｻｯﾁ（同上）	１基
Ｒ・叫ﾃﾞｰﾋﾞｽ（同上）	

佐世保の揚陸艦も全部装備

２０mmファランクス砲とは
１分間の発射歡　3000発
発射弾の名称　劣化ウラン徹甲弾